

平成30年度第3回羽幌町社会教育委員会議

並びに羽幌町公民館運営審議会会議記録

- 1 日 時 平成31年2月28日(木曜日)
午後6時30分から午後7時10分
- 2 場 所 羽幌町中央公民館 3階会議室
- 3 出席者 大長 司 小国美恵子 富田正夫 宮下裕加 本間範子
本間憲一 小山由美子 八谷隆幸 鈴木真一 山田 守
- 欠席者 永沼慧久男 西村教子 工藤俊也

- 4 説明のために出席した事務局職員
社会教育課長 渡辺博樹、社会教育係長 高橋 司
図書係長 春日井寿美子 体育振興係主査 近藤健弘

5 記 録

- (1) 平成30年度社会教育事業経過報告について
議案資料2～5頁のとおり(事務局より報告)

【主な意見等】

- 委 員：幼稚園でスキー場を利用したとき、利用者が誰もいなかった。
スキー場利用者は減少しているのか。
- 事務局：直近2～3年で比較すると、スキー場のリフト使用料及び乗車人数とも今シーズンは増加している。
増加要因としては、天候に恵まれたことや今年度から遠別中学校と遠別農業高校がスキー授業で利用していることなどが考えられる。
- 委 員：リフト料金は、もう少し安かったら利用しやすいと思うが。
- 事務局：利用しやすいように、多様な券種を販売している。
- 委 員：日本の凧展は、昨年から作品数は増えているのか。
- 事務局：増えている。今年度は100点を展示した。
- 委 員：凧展の展示作業は、文化協会としても協力しているが、もう少し手伝いが必要と感じている。
- 委 員：声掛けしてもらえれば、高校生でもボランティアとして参加可能である。
- 委 員：おろろんウィンターフェスティバルは、参加者が少なかったようだが。
- 事務局：今回は、天気もよく昨年よりは増えている。全体で延べ700人の来場があった。ただ、最後の餅まきのときの感じとしては、少ないと感じた。競技が終了した幼児等の家族づれが帰宅したと思われる。

- (2) 平成30年度羽幌町優良青少年顕彰、羽幌町文化賞体育賞顕彰、羽幌町青少年文化賞スポーツ賞表彰について
議案資料6～7頁のとおり（事務局より説明）

表彰式を3月4日（月）午後6時30分から中央公民館で開催。
羽幌町文化協会賞、羽幌町体育協会スポーツ賞と同日開催のため、各受賞者について、参考資料を配布。

【主な意見等】

特になし

- (3) 平成31年度予算（臨時費）について
議案資料8～9頁のとおり（事務局より説明）

【主な意見等】

特になし

- (4) その他

① 5月連休期間の公民館図書室の開館について

事務局：新天皇の即位に伴い、今年のゴールデンウィークは10連休となることから、公民館図書室も休館日の規定から4月28～29日、5月1～6日が休館日となる。

図書室としては、利用者のことを考え4月30～5月2日まで、開館したいと考えているが、委員皆様のご意見を伺いたい。

委員：規定どおりに、閉館でもよいと思うが、図書室でよければ、開館したほうがよいと思う。

② 社会教育事業参観記録表提出一覧について

今年度提出された記録表を別紙により当日配布